

ユニット ※設置する場合は記入	評価分野	評価項目	教授 ウエイト	准教授 ウエイト	助教 ウエイト	評価基準
社会環境と 情報部門 (環境系)	教 育	授業科目の担当状況【学部】(全学教育科目含む)	0.5	0.5	0.0	<p>【5:特に優れている】 専門科目を45コマ以上担当し、さらに全学教育科目を8コマ以上あるいは副専攻科目を8コマ以上担当した。</p> <p>【4:水準を上回っている】 すべての科目で45コマ以上担当した。</p> <p>【3:水準に達している】 すべての科目で31コマ~44コマ担当した。</p> <p>【2:改善の余地がある】 すべての科目で30コマ以下を担当した。</p> <p>【1:問題があり改善を要する】 学部の講義科目を担当していない。</p>
		授業科目の担当状況【大学院】	0.5	0.5	0.0	<p>【5:特に優れている】 すべての科目で72コマ以上担当した。</p> <p>【4:水準を上回っている】 すべての科目で45コマ~71コマ担当した。</p> <p>【3:水準に達している】 すべての科目で21コマ~44コマ担当した。</p> <p>【2:改善の余地がある】 すべての科目で20コマ以下を担当した。</p> <p>【1:問題があり改善を要する】 大学院の科目を担当していない。</p>
		卒業研究指導状況(着任3年を経た教員を対象)	0.4	0.4	0.0	<p>【5:特に優れている】 前年度7名以上指導した。</p> <p>【4:水準を上回っている】 前年度4名~6名指導した。</p> <p>【3:水準に達している】 前年度2名~3名指導した。</p> <p>【2:改善の余地がある】 前年度1名指導した。</p> <p>【1:問題があり改善を要する】 前年度の指導なし。</p>
		博士課程前期研究指導状況(着任3年を経た教員を対象)	0.4	0.4	0.0	<p>【5:特に優れている】 過去3年平均で、責任指導教員として、年あたり、博士課程前期の学生を7名以上指導し、修士論文の成果として指導大学院生の査読付き学術論文が2件以上掲載され、指導大学院生が研究成果を講演会等で4件以上発表した。</p> <p>【4:水準を上回っている】 過去3年平均で、責任指導教員として、年あたり、博士課程前期の学生を4名~6名指導し、指導大学院生が査読付き学術論文1件以上を掲載、または研究成果を講演会等で2件以上発表した。</p> <p>【3:水準に達している】 過去3年平均で、責任指導教員として、年あたり、博士課程前期の学生を2名~3名指導し、指導大学院生が研究成果を講演会等で1件以上発表した。</p> <p>【2:改善の余地がある】 過去3年平均で、責任指導教員として、年あたり、博士課程前期の学生を1名指導した。</p> <p>【1:問題があり改善を要する】 過去3年間に、責任指導教員として、博士課程前期の学生を指導しなかった。</p>
		博士課程後期研究指導状況(着任3年を経た教員を対象)	0.4	0.2	0.0	<p>【5:特に優れている】 過去3年平均で、責任指導教員として、年あたり、博士課程前期の学生を2名以上指導し、博士論文の成果として指導大学院生の査読付き学術論文が2件以上掲載され、指導大学院生が研究成果を講演会等で6件以上発表した。</p> <p>【4:水準を上回っている】 過去3年平均で、責任指導教員として、年あたり、博士課程後期の学生を1名指導し、指導大学院生が査読付き学術論文を1件以上掲載、研究成果を講演会等で2件以上発表した。</p> <p>【3:水準に達している】 過去3年平均で、責任指導教員として、年あたり、博士課程後期の学生を1名指導し、指導大学院生が研究成果を講演会等で1件以上発表した。</p> <p>【2:改善の余地がある】 過去3年平均で、責任指導教員として、年あたり、博士課程後期の学生を1名指導した。</p> <p>【1:問題があり改善を要する】 過去3年間に、責任指導教員として、博士課程後期の学生を指導しなかった。</p>
		留学生の受入状況	0.1	0.1	0.0	<p>【5:特に優れている】 過去3年間に留学生、研究生を5名以上受け入れた。</p> <p>【4:水準を上回っている】 過去3年間に留学生、研究生を3名~4名受け入れた。</p> <p>【3:水準に達している】 過去3年間に留学生、研究生を2名受け入れた。</p> <p>【2:改善の余地がある】 過去3年間に留学生、研究生を1名受け入れた。</p> <p>【1:問題があり改善を要する】 過去3年間に留学生、研究生を受け入れなかった。</p>

ユニット ※設置する場合は記入	評価分野	評価項目	教授 ウエイト	准教授 ウエイト	助教 ウエイト	評価基準
社会環境と 情報部門 (環境系)	教 育	教育方法の改善に関する取組状況	0.1	0.1	0.0	【5:特に優れている】 取組みや活動、成果の状況が非常に優れている。 【4:水準を上回っている】 取組みや活動、成果の状況が優れている。 【3:水準に達している】 取組みや活動、成果の状況が良好である。 【2:改善の余地がある】 取組みや活動状況に問題があり、成果が得られていない。 【1:問題があり改善を要する】 取組みが見られない。
		その他の教育活動	0.1	0.1	1.0	【5:特に優れている】 その他の教育活動で顕著な業績を上げている。 【4:水準を上回っている】 その他の教育活動で良好な業績を上げている。 【3:水準に達している】 その他の教育活動で平均的な業績を上げている。 【2:改善の余地がある】 その他の教育活動で若干の業績を上げている。 【1:問題があり改善を要する】 その他の教育活動の実績はない。

ユニット ※設置する場合は記入	評価分野	評価項目	教授 ウエイト	准教授 ウエイト	助教 ウエイト	評価基準
社会環境と情報部門 (環境系)	研究	学術雑誌等の論文公表の状況	0.5	0.5	0.5	【5:特に優れている】 過去5年間に学術論文10報以上発表した。 【4:水準を上回っている】 過去5年間に学術論文5~9報発表した。 【3:水準に達している】 過去5年間に学術論文2~4報発表した。 【2:改善の余地がある】 過去5年間に学術論文1報発表した。 【1:問題があり改善を要する】 学術論文を発表しなかった。
		学術専門書等の執筆、編集の状況	0.2	0.2	0.2	【5:特に優れている】 過去5年間に学術専門書を単著・共著で1冊以上、あるいは、単著・共著・分担・翻訳の学術専門書等を4冊以上執筆・編集した。 【4:水準を上回っている】 過去5年間に単著・共著・分担・翻訳の学術専門書等を3冊執筆・編集した。 【3:水準に達している】 過去5年間に単著・共著・分担・翻訳の学術専門書等を2冊執筆・編集した。 【2:改善の余地がある】 過去5年間に単著・共著・分担・翻訳の学術専門書等を1冊執筆・編集した。 【1:問題があり改善を要する】 過去5年間に学術専門書の執筆・編集はしなかった。
		解説、総説等の公表状況	0.2	0.2	0.2	【5:特に優れている】 過去5年間に解説、総説等を2編以上公表した。 【4:水準を上回っている】 過去5年間に解説、総説等を1編公表した。 【3:水準に達している】 過去5年間に解説、総説等を公表しなかった。 【2:改善の余地がある】 過去5年間に解説、総説等を公表しなかった。 【1:問題があり改善を要する】 過去5年間に解説、総説等を公表しなかった。
		建築、芸術、演奏、体育系分野等の活動状況	0.0	0.0	0.0	【5:特に優れている】 【4:水準を上回っている】 【3:水準に達している】 【2:改善の余地がある】 【1:問題があり改善を要する】
		特許出願状況	0.1	0.1	0.1	【5:特に優れている】 過去3年間で4件以上出願した。 【4:水準を上回っている】 過去3年間で3件出願した。 【3:水準に達している】 過去3年間で2件出願した。 【2:改善の余地がある】 過去3年間で1件出願した。 【1:問題があり改善を要する】 過去3年間に特許の出願はしなかった。
		学術賞等の受賞の状況	0.0	0.0	0.0	【5:特に優れている】 該当する場合はその他の研究活動で評価する。 【4:水準を上回っている】 【3:水準に達している】 【2:改善の余地がある】 【1:問題があり改善を要する】
		学会発表、講演等の状況	0.3	0.3	0.3	【5:特に優れている】 過去5年間で10件以上学会発表、講演等を行った。 【4:水準を上回っている】 過去5年間で5件~9件学会発表、講演等を行った。 【3:水準に達している】 過去5年間で2件~4件学会発表、講演等を行った。 【2:改善の余地がある】 過去5年間で1件学会発表、講演等を行った。 【1:問題があり改善を要する】 過去5年間に学会発表、講演等は行っていない。

ユニット ※設置する場合は記入	評価分野	評価項目	教授 ウエイト	准教授 ウエイト	助教 ウエイト	評価基準
社会環境と情報部門 (環境系)	研究	学術調査、研究報告等の活動状況	0.1	0.1	0.1	【5:特に優れている】 過去3年間で学術調査、研究報告等を複数行った。 【4:水準を上回っている】 過去3年間で学術調査、研究報告等を1件行った。 【3:水準に達している】 過去3年間で学術調査、研究報告等の実績はない。 【2:改善の余地がある】 過去3年間で学術調査、研究報告等の実績はない。 【1:問題があり改善を要する】 過去3年間で学術調査、研究報告等の実績はない。
		科学研究費の申請、獲得状況	0.3	0.3	0.3	【5:特に優れている】 過去3年間で500万円以上獲得した。 【4:水準を上回っている】 過去3年間に3件以下の申請を行い、500万円未満獲得した。 【3:水準に達している】 過去3年間に3件以下の申請を行い、100万円未満獲得した。 【2:改善の余地がある】 過去3年間に2件以下の申請を行い、20万円未満獲得した。 【1:問題があり改善を要する】 過去3年間に科学研究費の申請は行っていない。
		共同研究、受託研究、その他外部資金の獲得状況	0.3	0.3	0.3	【5:特に優れている】 過去3年間に、共同研究費、受託研究費等の外部資金を3件以上または1千万円以上を獲得した。 【4:水準を上回っている】 過去3年間に、共同研究費、受託研究費等の外部資金を2件以上または300万円以上獲得した。 【3:水準に達している】 過去3年間に、共同研究費、受託研究費等の外部資金を2件以上または100万円以上獲得した。 【2:改善の余地がある】 過去3年間に、共同研究費、受託研究費等の外部資金を1件以上獲得した。 【1:問題があり改善を要する】 過去3年間に、共同研究、受託研究費等の外部資金の獲得はない。
		その他の研究活動	0.1	0.1	0.1	【5:特に優れている】 学術賞等の受賞、その他の研究活動で顕著な業績を上げている。 【4:水準を上回っている】 学術賞等の受賞、その他の研究活動で良好な業績を上げている。 【3:水準に達している】 学術賞等の受賞、その他の研究活動で平均的な業績を上げている。 【2:改善の余地がある】 学術賞等の受賞、その他の研究活動で若干の業績を上げている。 【1:問題があり改善を要する】 学術賞等の受賞、その他の研究活動の実績はない。

ユニット ※設置する場合は記入	評価分野	評価項目	教授 ウエイト	准教授 ウエイト	助教 ウエイト	評価基準
社会環境と情報部門(環境系)	社会貢献	国、地方公共団体での活動状況	0.2	0.2	0.2	【5:特に優れている】 過去3年間で6件以上の活動実績があった。 【4:水準を上回っている】 過去3年間で4件~5件の活動実績があった。 【3:水準に達している】 過去3年間で2件~3件の活動実績があった。 【2:改善の余地がある】 過去3年間で1件の活動実績があった。 【1:問題があり改善を要する】 過去3年間に活動実績はなかった。
		学会等の学術団体での活動状況	0.4	0.4	0.4	【5:特に優れている】 過去3年間で6件以上の活動実績があった。 【4:水準を上回っている】 過去3年間で4件~5件の活動実績があった。 【3:水準に達している】 過去3年間で2件~3件の活動実績があった。 【2:改善の余地がある】 過去3年間で1件の活動実績があった。 【1:問題があり改善を要する】 過去3年間に活動実績はなかった。
		公開講座、生涯学習教育に関する活動状況	0.0	0.0	0.0	【5:特に優れている】 実績のある場合はその他の社会貢献活動で評価する。 【4:水準を上回っている】 【3:水準に達している】 【2:改善の余地がある】 【1:問題があり改善を要する】
		産学連携活動(技術移転、技術相談等)の状況	0.2	0.2	0.2	【5:特に優れている】 過去3年間で7件以上活動実績があった。 【4:水準を上回っている】 過去3年間で4件~6件活動実績があった。 【3:水準に達している】 過去3年間で2件~3件活動実績があった。 【2:改善の余地がある】 過去3年間で1件活動実績があった。 【1:問題があり改善を要する】 過去3年間に活動実績はなかった。
		国際共同研究に関する活動状況	0.0	0.0	0.0	【5:特に優れている】 実績のある場合はその他の社会貢献活動で評価する。 【4:水準を上回っている】 【3:水準に達している】 【2:改善の余地がある】 【1:問題があり改善を要する】
		海外活動支援の状況	0.1	0.1	0.0	【5:特に優れている】 過去3年間で6件以上活動実績があった。 【4:水準を上回っている】 過去3年間で4件~5件活動実績があった。 【3:水準に達している】 過去3年間で2件~3件活動実績があった。 【2:改善の余地がある】 過去3年間で1件活動実績があった。 【1:問題があり改善を要する】 過去3年間に活動実績はなかった。
		地域連携活動の状況	0.1	0.1	0.1	【5:特に優れている】 過去3年間で4件以上の活動実績があった。 【4:水準を上回っている】 過去3年間で3件の活動実績があった。 【3:水準に達している】 過去3年間で2件の活動実績があった。 【2:改善の余地がある】 過去3年間で1件の活動実績があった。 【1:問題があり改善を要する】 過去3年間に活動実績はなかった。

ユニット ※設置する場合は記入	評価分野	評価項目	教授 ウエイト	准教授 ウエイト	助教 ウエイト	評価基準
社会環境と 情報部門 (環境系)	社会貢献	その他の社会貢献活動	0.2	0.2	0.2	<p>【5:特に優れている】 公開講座、生涯学習教育、国際共同研究、その他の社会貢献活動で顕著な業績を上げている。</p> <p>【4:水準を上回っている】 公開講座、生涯学習教育、国際共同研究、その他の社会貢献活動で良好な業績を上げている。</p> <p>【3:水準に達している】 公開講座、生涯学習教育、国際共同研究、その他の社会貢献活動で平均的な業績を上げている。</p> <p>【2:改善の余地がある】 公開講座、生涯学習教育、国際共同研究、その他の社会貢献活動で若干の業績を上げている。</p> <p>【1:問題があり改善を要する】 公開講座、生涯学習教育、国際共同研究、その他の社会貢献活動の実績はない。</p>

ユニット ※設置する場合は記入	評価分野	評価項目	教授 ウエイト	准教授 ウエイト	助教 ウエイト	評価基準
社会環境と情報部門(環境系)	管理運営	学内の管理運営組織での活動状況	0.5	0.5	0.5	【5:特に優れている】 過去3年間で3件以上の全学委員会等または7件以上の部局内委員会等を担当した。 【4:水準を上回っている】 過去3年間で2件以上の全学委員会等または4件～6件の部局内委員会等を担当した。 【3:水準に達している】 過去3年間で1件以上の全学委員会等または2件～3件の部局内委員会等を担当した。 【2:改善の余地がある】 過去3年間で1件の委員会等を担当した。 【1:問題があり改善を要する】 過去5年間に委員会等の担当はなかった。
		入試業務に係わる活動状況	0.2	0.2	0.2	【5:特に優れている】 入試業務を6件以上担当した。 【4:水準を上回っている】 入試業務を4件～5件担当した。 【3:水準に達している】 入試業務を2件～3件担当した。 【2:改善の余地がある】 入試業務を1件担当した。 【1:問題があり改善を要する】 入試業務を担当しなかった。
		入学・進学志願者増加に係わる活動状況	0.0	0.0	0.0	【5:特に優れている】 実績のある場合はその他の管理運営業務で評価する。 【4:水準を上回っている】 【3:水準に達している】 【2:改善の余地がある】 【1:問題があり改善を要する】
		就職支援、課外活動支援に係わる活動状況	0.0	0.0	0.0	【5:特に優れている】 実績のある場合はその他の管理運営業務で評価する。 【4:水準を上回っている】 【3:水準に達している】 【2:改善の余地がある】 【1:問題があり改善を要する】
		その他の管理運営業務	0.2	0.2	0.2	【5:特に優れている】 入学・進学志願者増加、就職支援、課外活動支援、その他の管理運営活動で顕著な業績を上げている。 【4:水準を上回っている】 入学・進学志願者増加、就職支援、課外活動支援、その他の管理運営活動で良好な業績を上げている。 【3:水準に達している】 入学・進学志願者増加、就職支援、課外活動支援、その他の管理運営活動で平均的な業績を上げている。 【2:改善の余地がある】 入学・進学志願者増加、就職支援、課外活動支援、その他の管理運営活動で若干の業績を上げている。 【1:問題があり改善を要する】 入学・進学志願者増加、就職支援、課外活動支援、その他の管理運営活動の実績はない。